

しほね女性消防吏員活躍推進研修会

女性消防吏員の 人材育成について

新潟市消防局 企画人事課人事育成係長 荒木 泰史

本日の講演概要

新潟市消防局の紹介

全国の女性消防吏員の状況

採用試験

受験者増加の取組

定年まで勤務できる環境づくり

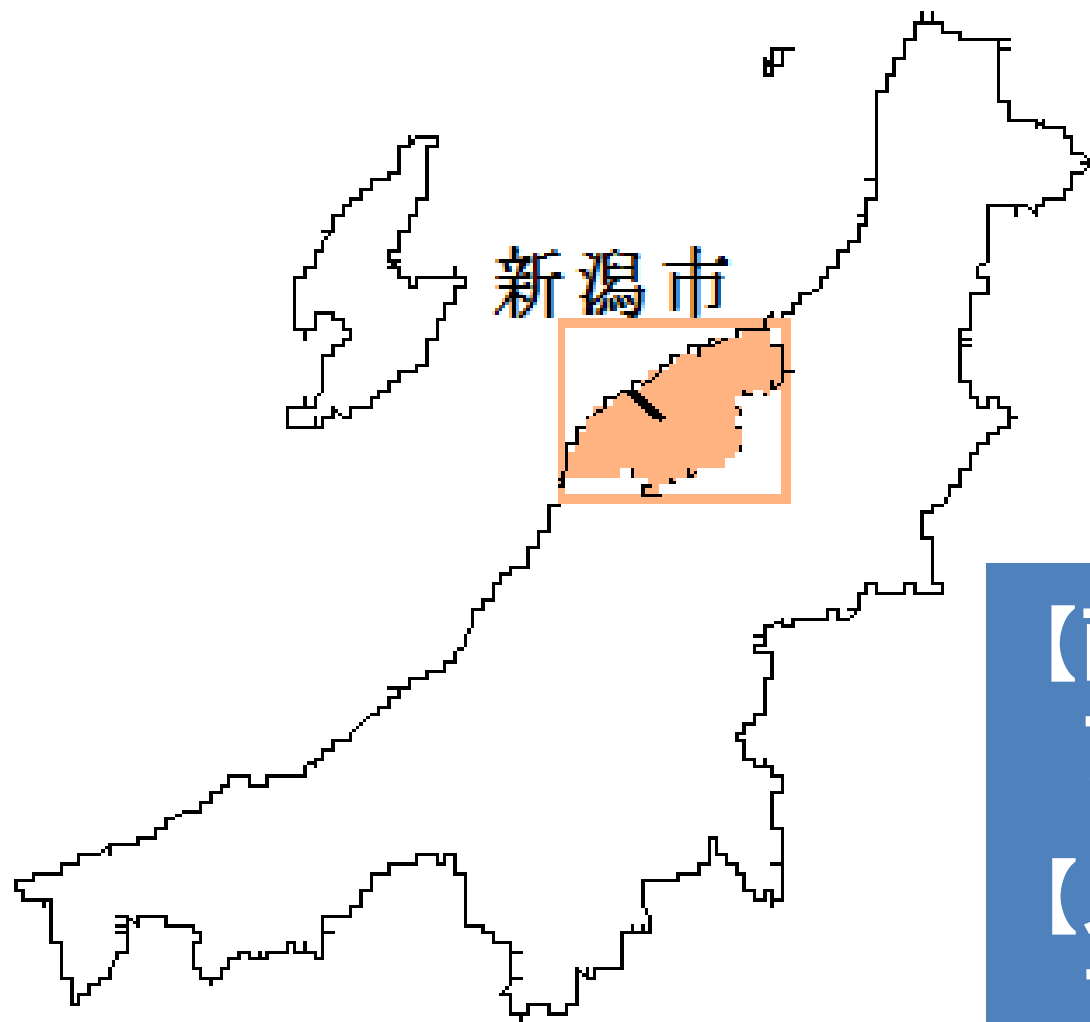
まとめ

新潟市消防局の紹介

現在の業務

- 1 採用・異動・昇任・退職
- 2 服務・処分・ハラスメント
- 3 研修・人事評価・職員委員会
- 4 表彰・給与・学校
- 5 公務災害・安全衛生
- 6 共済・互助会・親睦会・生協

新潟市の概要①



【面積】

726.45 km²

【人口】

789,897人

(「令和元年度消防年報」より)

新潟市の概要②



Starting port

みんなで作る、みなとまち新潟スタート!

公式WEBサイト 随時更新中

<http://www.nii-port.com>

詳しくはこちら

click

新潟市消防局の概要①



署所
1局8署26出張所



消防団員数
実員6,065人
定数6,443人



消防職員数
実員913人
定数920人



消防予算
105億1,065千円
一般会計比率2.8パーセント

(「一目でわかる新潟市消防データ」平成30年4月1日現在より)

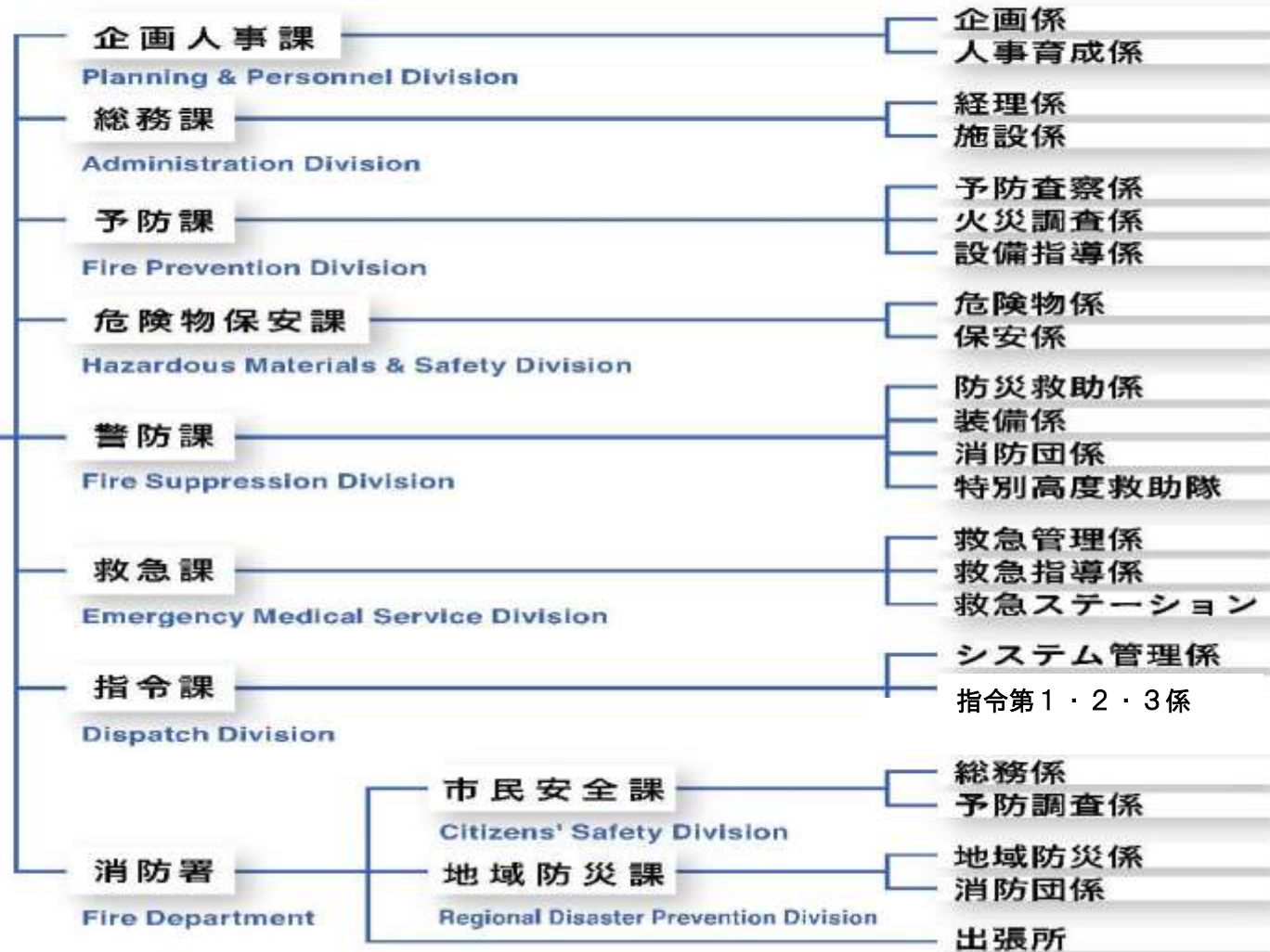
新潟市消防局の概要②

組織図

Organization Chart

消防局

Fire Bureau



女性消防職員の概要

【職員数】

17名 ※R1年度1名採用

【年代別】

30代：4名 20代：13名

【分野別】

消防隊：12名 救急隊：4名

企画人事課：1名

全国の女性消防吏員の状況

全国の消防吏員数に占める女性割合

	平成28年			平成29年			平成30年		
	全数(A)	うち女性(B)	割合(B/A)	全数(A)	うち女性(B)	割合(B/A)	全数(A)	うち女性(B)	割合(B/A)
全数	161,586	4,036	2.5%	162,068	4,236	2.6%	163,313	4,478	2.7%
日勤者	34,163(21.1%)	2,127(52.7%)	6.2%	34,151(21.1%)	2,247(53.0%)	6.6%	34,785(21.3%)	2,352(52.5%)	6.8%
消防隊	71,507(44.3%)	601(14.9%)	0.8%	70,805(43.7%)	665(15.7%)	0.9%	71,694(43.9%)	748(16.7%)	1.0%
救急隊	28,598(17.7%)	928(23.0%)	3.2%	29,363(18.1%)	967(22.8%)	3.3%	29,244(17.9%)	1,017(22.7%)	3.5%
救助隊	13,539(8.4%)	5(0.1%)	0.0%	13,679(8.4%)	4(0.1%)	0.0%	13,661(8.4%)	6(0.1%)	0.0%
指揮隊	6,189(3.8%)	166(4.1%)	2.7%	6,573(4.1%)	151(3.6%)	2.3%	6,435(3.9%)	157(3.5%)	2.4%
その他	7,590(4.7%)	209(5.2%)	2.8%	7,497(4.6%)	202(4.8%)	2.7%	7,491(4.6%)	199(4.4%)	2.7%

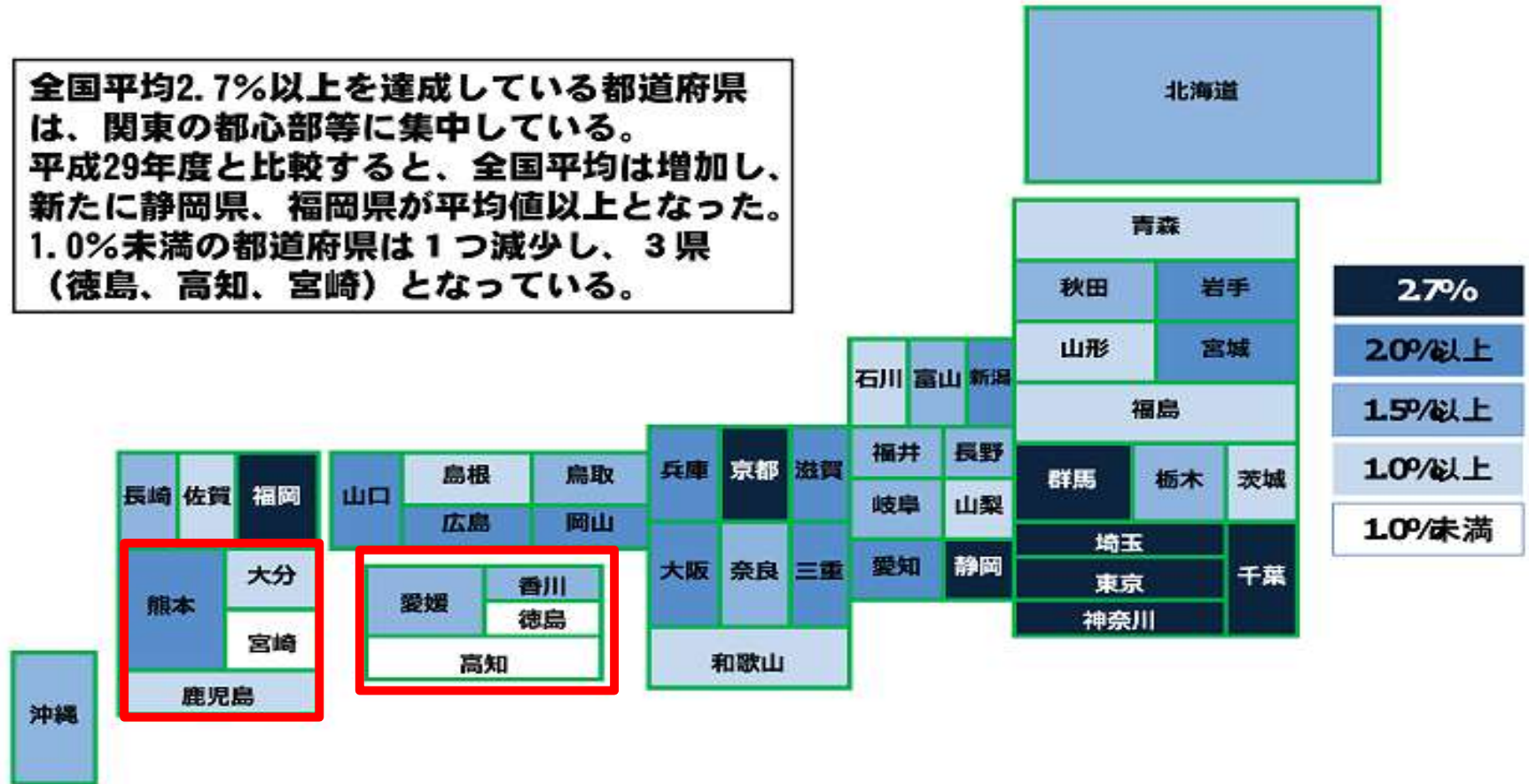
注:兼務している職員は、主に従事している部隊で回答しており、他の調査と数字が合わない場合がある。

(「女性消防吏員の現況等に関する調査」の調査結果)

日勤者と救急隊に配置されている職員が多い

都道府県別女性消防吏員割合（平成30年4月）

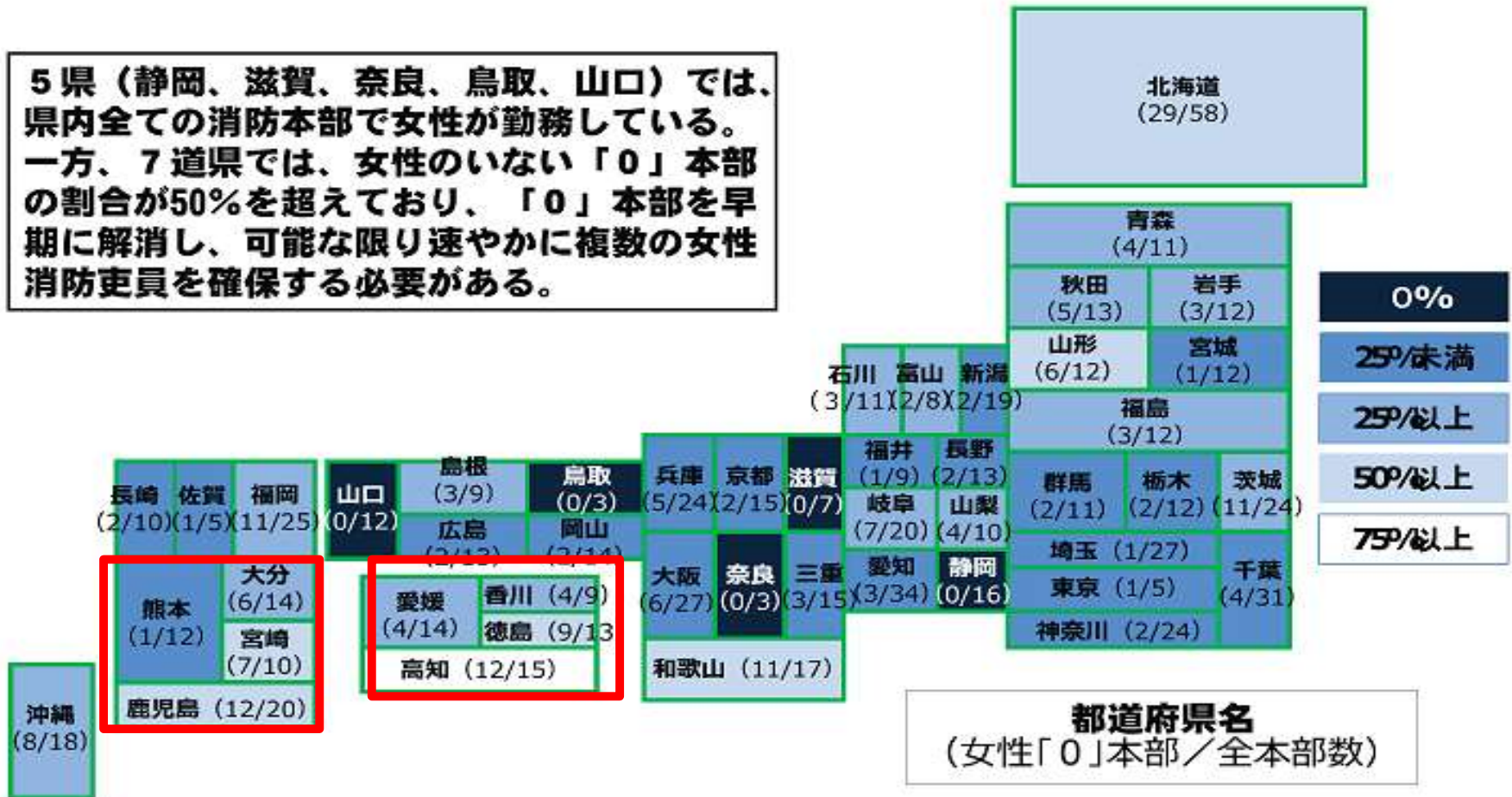
全国平均2.7%以上を達成している都道府県は、関東の都心部等に集中している。平成29年度と比較すると、全国平均は増加し、新たに静岡県、福岡県が平均値以上となった。1.0%未満の都道府県は1つ減少し、3県（徳島、高知、宮崎）となっている。



四国・南九州で割合が少ない

都道府県別女性消防吏員「0」本部の割合 (平成30年4月)

5県（静岡、滋賀、奈良、鳥取、山口）では、
県内全ての消防本部で女性が勤務している。
一方、7道県では、女性のいない「0」本部
の割合が50%を超えており、「0」本部を早期
に解消し、可能な限り速やかに複数の女性
消防吏員を確保する必要がある。



同じく四国・南九州で割合が少ない

消防職員の採用状況等

	応募者			受験者			合格者			採用者		
	合計	うち男性	うち女性	合計	うち男性	うち女性	合計	うち男性	うち女性	合計	うち男性	うち女性
平成25年度	95,719	91,777 (95.9%)	3,942 (4.1%)				7,789	7,504 (96.3%)	285 (3.7%)	6,824	6,583 (96.5%)	241 (3.5%)
平成26年度	86,371	82,898 (96.0%)	3,473 (4.0%)				7,449	7,179 (96.4%)	270 (3.6%)	6,720	6,485 (96.5%)	235 (3.5%)
平成27年度	82,143	78,830 (96.0%)	3,313 (4.0%)	65,685	63,154 (96.1%)	2,531 (3.9%)	7,450	7,113 (95.5%)	332 (4.5%)	6,401	6,140 (95.9%)	261 (4.1%)
平成28年度	77,052	73,847 (95.8%)	3,205 (4.2%)	62,908	60,396 (96.0%)	2,512 (4.0%)	6,512	6,156 (94.5%)	356 (5.5%)	5,723	5,449 (95.2%)	274 (4.8%)
平成29年度	72,509	69,256 (95.5%)	3,253 (4.5%)	58,395	55,829 (95.6%)	2,566 (4.4%)	6,354	5,980 (94.1%)	374 (5.9%)	5,459	5,153 (94.4%)	306 (5.6%)

受験者数は減少 女性は昨年並み

女性消防吏員が増加した本部上位（平成30年4月）

都道府県名	消防本部名称	平成30年度			平成29年度			増減	
		消防吏員数			消防吏員数			30-29	
		合計	うち女性	女性割合	合計	うち女性	女性割合	合計	うち女性
東京	東京消防庁	18,708	1,221	6.53%	18,497	1,210	6.54%	211	11
大阪	大阪市消防局	3,523	126	3.58%	3,490	118	3.38%	33	8
埼玉	さいたま市消防局	1,387	46	3.32%	1,374	39	2.84%	13	7
埼玉	埼玉西部消防局	873	37	4.24%	866	33	3.81%	7	4
埼玉	埼玉東部消防組合	649	21	3.24%	645	17	2.64%	4	4
千葉	千葉市消防局	992	39	3.93%	1,002	35	3.49%	△ 10	4
愛知	名古屋市消防局	2,366	53	2.24%	2,323	49	2.11%	43	4
京都	京都市消防局	1,778	71	3.99%	1,766	67	3.79%	12	4
福岡	福岡市消防局	1,063	38	3.57%	1,043	34	3.26%	20	4
岩手	宮古地区区域行政組合 消防本部	197	5	2.54%	193	2	1.04%	4	3
宮城	仙台市消防局	1,130	33	2.92%	1,123	30	2.67%	7	3
群馬	高崎市等広域消防局	456	20	4.39%	456	17	3.73%	0	3
神奈川	横浜市消防局	3,765	136	3.61%	3,752	133	3.54%	13	3
神奈川	藤沢市消防局	475	17	3.58%	474	14	2.95%	1	3
新潟	新潟市消防局	940	17	1.81%	936	14	1.50%	4	3
静岡	駿東伊豆消防本部	620	12	1.94%	613	9	1.47%	7	3
奈良	奈良県広域消防組合	1,290	15	1.16%	1,282	12	0.94%	8	3
岡山	岡山市消防局	753	25	3.32%	735	22	2.99%	18	3
広島	広島市消防局	1,322	46	3.48%	1,319	43	3.26%	3	3
福岡	北九州市消防局	1,000	50	5.00%	988	47	4.76%	12	3

採用試験

職員採用状況

試験年度	H26	H27	H28	H29	H30
受験者	307	281	281	330	293
うち女性	5	7	10	<u>24</u>	<u>22</u>
採用者	39	33	35	32	32
うち女性	0	0	<u>4</u>	<u>3</u>	<u>1</u>

「採用した」という実績を作る

試験区分

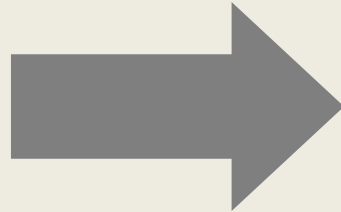
- 1** 消防士 A (大卒程度)
採用時期 : **試験翌年度** 4月又は9月
- 2** 消防士 B (大卒程度)
採用時期 : **試験年度** 9月
- 3** 消防士 (高卒程度)
採用時期 : **試験翌年度** 4月又は9月

「女性区分」の設定は差別になるため不可

試験内容①

【第1次試験】

- ・ 教養試験
- ・ 体力検査
- ・ 適性検査



【第2次試験】

- ・ 消防適性検査
- ・ 論文試験
- ・ 個別面接試験
- ・ 身体検査

(健康診断書の提出)

**第1次試験の結果は
第2次試験に反映されない**

試験内容②

【体力検査】

- ①握力
- ②腕立伏臥腕屈伸
- ③反復横とび
- ④上体起こし
- ⑤立ち幅とび
- ⑥長座体前屈
- ⑦シャトルラン

男性及び女性にとって
公平かつ明確な基準が必要

試験内容を見直す場合

消防のみで変更することは不可

人事委員会との協議が必要不可欠

【人事委員会の判断材料】

- ・ 同規模程度の他都市の状況はどうか
- ・ 公平性が担保されているか
- ・ 差別的な部分はないか

受験者増加の取組

受験者増加の取組

「女性区分」での採用区分の設定は不可

女性の受験者を増加させ
合格する確率を上げる

どうすれば？

女性に「消防」という職業を
就職先の選択肢に入れてもらう

受験者増加の取組

- ① 説明会の開催・参加
- ② 小・中学生への広報
- ③ メディア・広報媒体の活用

幅広い広報の実施

説明会の開催・参加

【職場説明会の開催】

1 採用説明会

- ・ 大学卒業程度：3月
- ・ 高校卒業程度：7月

2 職場説明会

- ・ 職場説明会：10月頃
- ・ 女性限定職場説明会：10月頃

女性が参加しやすい環境づくり

女性専用施設



仮眠室入口



完全個室化の仮眠室

現在、局・5消防署に女性専用設備が完備しています。



説明会の開催・参加

【説明会の参加】

1 企業説明会への参加

民間企業が主催の企業説明会

2 各種学校での説明会への参加

大学・専門学校・高校

女性消防職員も参加して
「消防」に女性がいることをアピール

小・中学生への広報

1

消防フェスタ

市民への庁舎開放

消防局庁舎の移転時から開始

2

リトルファイヤースクール

小学校4年生を対象とした出前授業

女性消防職員を積極的に派遣

メディア・広報媒体の活用

- 1 女性消防職員を起用した消防業務
PR動画の作成（消防庁モデル事業）**
- 2 地元テレビへの出演**
- 3 地元アイドルを起用した消防職団員
募集ポスターの作成（県・消防団作成）**



ワタシが守る、
わたしの街。

輝くワタシ
消防女子。

I am a female firefighter



女性消防団員募集

消防団員募集要項はこちら



にいがた消防団員サポーター制度 平成28年12月1日スタート

にいがた
消防団員
サポーター制度

消防団員サポーター制度

消防団員サポーター制度とは、消防団員が活動する際に必要な費用を補助する制度です。また、消防団員が活動する際に必要な費用を補助する制度です。



消防団員サポーター制度の詳しい内容は、消防団員サポーター制度のパンフレットをご覧ください。

定年まで勤務できる
環境づくり

定年まで勤務できる環境づくり

女性消防職員の採用



途中で退職

やり直し

定年まで継続して勤務
できる環境づくりが必要

定年まで勤務できる環境づくり

1 教育体制の充実

2 職域の拡大

3 ロールモデルの育成

4 育児休業時の人員の確保

教育体制の充実

【採用後】

新潟県消防学校初任科へ入校

⇒ 基礎的な知識・技術の修得（6ヶ月）

【配属後】

1 職員教育プログラム

2 経年後研修

3 アドバイザー制度

職域の拡大

- 1 小隊長・副小隊長へ配置
- 2 消防学校専科教育への派遣
- 3 生活環境を考慮した配置

性別によって職域を制限しない

育児休業時の人員の確保

育児休業時の代替 ⇒ 臨時職員

臨時職員に災害対応業務は不可

【市長部局人事課と協議】

× 正職員の増員

○ 再任用職員（短時間）

他の職員に負担を掛けない体制

今後の課題

1

キャリア形成

管理職の育成

2

定年延長との関連性の整理

採用人数が抑制された際の対応

3

更なる職域の拡大

配置可能な勤務場所の検討

まとめ

1

「採用した実績」が効果的

2

女性に不利にならない試験方法

3

女性に「消防」を就職の選択肢に入れてもらう

4

女性を特別扱いせず、男性と同じく定年まで勤務できる環境づくり